

## 第2回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議録

日 時 平成26年11月27日(木) 10:00~12:00  
場 所 富士見市役所 市長公室  
出席者 ○市民懇談会参加者

岩本	川上	新井	前田	世羅	狐塚
○	○	○	欠	○	欠
山崎	氣賀澤	佐藤	岡田	守山	矢島
○	○	○	○	○	○

○事務局

【地域文化振興課】市川課長、中嶋副課長、大下主事

【生涯学習課】友光課長、坂本主査、榎本主事

### 1. 開会

### 2. 議 事 岩本座長

#### (1) 資料確認

事務局より、配布資料の確認を行った。

#### (2) 協議事項

##### ・自己紹介

前回の会議から時間が経ったため、再度参加者の自己紹介を行った。

##### ・生涯学習ガイドブックについて

事務局より生涯学習ガイドブックについて、説明を行った。

委 員) 公民館や公共施設に何部ずつ配布しているのか、作成の予算はいくらか?

事務局) 公民館には閲覧用と予備で2部、それ以外に10部ずつ配布している。しかし市民全体に行き届くことを考えるとまだ足りない。足りない分はその都度コピーをして提供を行っていく。印刷費用については、本文は庁内で印刷し、表紙を外注しているので1冊100円程度である。

委 員) 内容はこれから変更を行うのか、またその際に近隣の市町村のイベント情報等も今後追加してほしい。

事務局) 内容は要望に応じて変更していく。近隣の市町村のイベントについて、すべてを網羅することは難しいが、大きなイベントを乗せるなど、今後

他市と連携を取る事が必要と考えている。

・富士見市文化芸術振興基本計画について

事務局より文化芸術振興基本計画について説明した。

委員) 組織を作るとのことだが、若者の参加を促す方法で行ってほしい。

事務局) 施策の柱にも書いてあるが、青年層に向けたアプローチも今後検討していく。

委員) 個人がどう組織に参加できる仕組みにするのか。

事務局) 広報で募集したり、指導者育成講座などを開催し受講者が組織の核心を担うような、団体に入っていなくても広く参加できる組織作りを行っていききたい。

委員) 既存の組織や団体に声をかける方が人が集まりやすいのはわかるが、若者の参加が難しくなる。若い力を取り入れるために、広く募集を行ったほうがよい。

委員) 学生からは団体には入りづらい雰囲気を感じるという意見を聞く。それを打破する形を考えていかなければならない。

委員) 行政でイベント等を企画して若者を取り込むようにしてほしい。

委員) 3年前に、市内の中学生に近隣の大学生等が部活動特別指導を行う事、合唱祭の発表会を市民文化のレベルアップの場として活かすこと、市内中学校の部活動指導者の先生の人事に配慮することを提案したが、まだ実現できていないので併せて検討をお願いしたい。

事務局) アクションプランの中で来年度以降小学校の合唱部への指導者の派遣を行う予定になっている。

委員) 若者を取り込むことも大切だが、退職して間もないシニアをどう取り込んでいくかもひとつの課題である。

委員) 中央区と春日部市では、若者が市政にかかわることを前提に空き家安く提供している事例がある。参考にしてほしい。

委員) 広報誌が届いていない家庭もあるのだという。改善をお願いしたい。

委員) まちづくり協議会を作り地域活動を行っているが、当市に新たに移り住んだ方々をいかに地域に取り込むかが大きな課題である。引っ越してきて早い時期に声をかけることなどを意識している。

・まちづくり講座（通称：出前講座）の途中経過の報告について

委員) 職員の負担にならないか不安である。これからは市民が行政に要求を行うばかりではなく、市民自治の自覚も育てていかなければならない。

- ・生涯学習推進基本計画の見直しについて

生涯学習推進基本計画を来年度見直しをすることを説明し、この4年間の環境の変化等について自由に討論していただいた。

委員) 行政に頼るという意識になってきていることも、大きな変化だと思う。また、スマホなど生活様式の変化もある。

委員) 自然災害も増えている。今年は災害の年だったように思う。

委員) 大学に地域貢献が求められてきている。大学を有効に使うということも一つ考えて欲しい。地域そのものにもっと学生たちも関わらせたい。

委員) 他市では高齢者の方々の学習の場に若者を連れて行き、意見交換をしている。

委員) 退職者が人材バンクに登録できるように、周知方法の改善が必要である。

委員) 人材バンクや町会など、行政の窓口等でパンフレットを配布するなどして新しく市に加わる人への情報提供について工夫してほしい。

委員) 公民館の利用者は高齢者の方が多い。若い人を積極的に誘うにはどうすればよいか知恵を出している。

委員) 公民館は最近若いお母さんたちも利用していることも多い。そういった層をうまく取り込めば、問題は解決するのではないか。

委員) この5年間でららぽーと建設等都市化に伴う環境変化があった。地域の子どもたちから自然が遠のいてしまったという認識も必要だと思う。青少年の健全育成をどう守るか、通学路や自転車の子どもたちの安全についても考えていきたい。

- ・今後のスケジュールについて

今年度は年明けに2回懇談会を開き、意見交換を行う事、また来年度は6回ほど懇談会を行い、専門家にも意見をいただきながら計画の見直しについて考えていきたいことを説明した。

### (3) その他

文化振興基本計画について、来年度の2月頃、東京大学の小林先生にご講演を行うこと、ぜひ懇談会参加者には参加してほしいことを説明した。

## 3. 閉会あいさつ 岩本座長

第2回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議次第

日 時 平成26年11月27日(木)

午前10時00分～

場 所 市役所市長公室

1 開 会

2 議 事

(1) 報告事項

- ・生涯学習ガイドブック
- ・文化芸術振興基本計画
- ・平成26年度出前講座途中経過報告

(2) 協議事項

- ・生涯学習推進基本計画の見直しについて
- ・今後のスケジュールについて

(3) その他

3 閉 会